

建築士

おおた

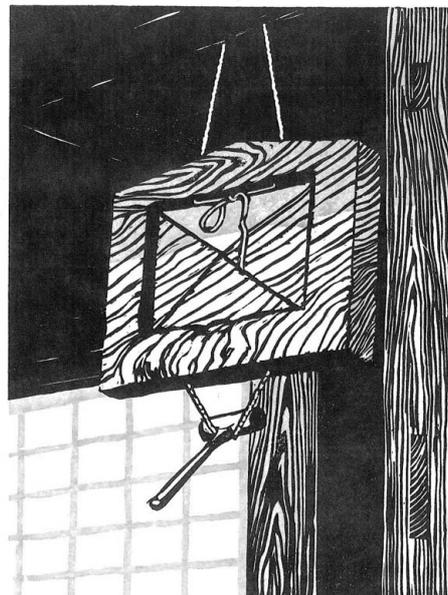
秋季号

2009 NO 106



CONTENTS

1. 第23回サマーセミナー大分大会開催に向けて	青年部会長 岐部 和久
2. 鮎美ママのハッピーエッセイ	<大分支部>高山 鮎美
5. 『建築士の集い』 -鹿児島大会参加報告-	<宇佐支部>奥田 和彦
6. 女性部会のPage	女性部 高山 鮎美 女性部会長 阿南 春美
8. シリーズ 登録文化財 No.27 帆足家分家住宅(松石不老館)	<大分支部>石井 鏡成
9. パッション・イン・宮崎へのいざない	青年部相談役 後藤 憲二
10. インフォメーション	
～ 別府支部 ～	工藤 圭介
～ 大分支部 ～	岡崎 光輝
13. 建築と住まい(九州編)	<日田支部>養父 信義
16. MY WORK	<三重支部>後藤 康仁 <日田支部>櫻木弘三郎 <竹田支部>志賀 勝吉 <別府支部>工藤 圭介
18. My Best Book	<三重支部>岡部 達巳 <佐伯支部>中田智佐美 <宇佐支部>渡辺 賢一
20. 会員紹介	<臼杵支部><佐伯支部>
21. 行政だより 「住宅瑕疵担保履行法スタート」について	大分県 建築住宅課
「住宅・建築関係事業者技術力向上支援講習会」	
23. 事務局だより	事務局



第23回サマーセミナー 大分大会開催へ向けて

青年部会長 岐部 和久

平成21年度事業の第23回サマーセミナーin大分は、現在開催にむけて大分支部青年部で実行委員会を実施し、協議を続けています。

開催日を11月21日(土)に、又開催場所を大分文化会館とする日程と大会会場が決定され、テーマや分科会内容もほぼ決まってきました。

開催地大分市の歴史は…

今回の開催地大分市は、歴史的にも新しきものが栄えた地、生まれた地であり、中世の時代、大友氏により南蛮文化が開いた地で、第7代当主、大友氏泰が、大分川河口付近に館を構え(現在の顕徳町付近)、このとき町の名を府内としています。これが現在の大分市の城下町のはじまりで、現在でも、府内町という地名が残されています。16世紀後半の大友宗麟の時代には、海外にも「BUNGO」の名で知られた国際都市で、海外貿易や西洋の進んだ技術文化を取り入れ、ルイス・アルメイダ氏によって日本初の西洋式病院を開設しています。また1960年代に入ると、高度経済成長の恩恵を受けるため、新産業都市指定を目指し鶴崎市や大南町等との大合併を行い、昭和39年1月に新産業都市に指定されました。その結果、沿岸部に新日鉄などの大工場が進出して九州を代表する工業都市へと急速に開発が進み、大分市は「新産都の優等生」と呼ばれました。

新産業都市としての発展にともない、1970年代には関東・関西資本の大型スーパーが大分駅前に多数進出し、地場百貨店とともに九州では珍しい首都圏の郊外都市のような駅前繁華街が形成されました。

しかしその後、商業のドーナツ化が進み、中心部の大型スーパーすべてが業態転換または撤退しています。

サマーセミナーのテーマは…

今回の開催テーマは「新・産都ものがたり～府内を歩こう～」です。

今回大分支部でのサマーセミナーは、建築士会の事

業のひとつである、まちづくりについて中心市街地で再発見してもらうため、材料・建築・まちづくりの3つの分科会を企画しています。

今回の分科会は…

第一分科会

材料コース

『素材イノベーションはここから ～製鉄を肌で感じてみよう』

1960年代の高度経済成長と新産業都市の指定、九州を代表する工業都市大分、その大分市の新日本製鐵大分製鐵所で、建築材料の代表格である鉄について改めて学び、原点に立ち返ることを目的にします。

第二分科会

建築コース

『磯崎建築再考～新たなる時代の行方を探る～』

1960年代の建築、大分を代表する世界的建築家 磯崎 新 氏の建築を改めて学ぶことで、高度経済成長期の大分の建築とまちづくりを再考していただきます。

第三分科会

まちコース

大分のまちを活性化する(竹町通り商店街)

明治以前の時代から存在する、大分市最古の商店街竹町通り商店街。明治後期に電灯が灯り、大正時代に「二の日・二の日の竹町夜市」が始まり、昭和4年に大分県初のアスファルトブロック舗装を行い、昭和9年には、大分県初のデパート(一丸デパート)をオープンするなど、大分市中心部で時代の先端を進んでいた場所で、建築にかかわる団体がコラボレーションをして、これからのまちづくりを考える場です。「竹ぶら」(竹町でぶらぶら)という言葉がはやったこの竹町で、現代の「竹ぶらまちづくり」をしてみましょう。

最後に…

今回は、建築士同士の交流に加えて、他団体や市民、学生を巻き込んでのコラボレーションという、今までに無い視点からサマーセミナーを実行しようとしています。歴史的に時代の先端を進んでいた大分で、また新しい事を始めようとしています。過去を学び、未来を創る職業、「建築士」として、拘らないのはもったいないですよ。皆さんふるって参加しましょう。



鮎美ママのハッピーエッセイ



第1回

大分支部 高山 鮎美

♪ プロローグ ♪

皆様こんにちは。編集会議の際、「建築に拘らず、旅行記やグルメ話、私生活の色々な事等の記事があったら面白いのではないかな？」という話になり、この度、連載のページを頂く事になりました、高山鮎美です。

私は、夫・長女3歳・次女9ヶ月の4人家族で、今は、家事育児を中心に、仕事は、自宅で図面描きやパソコンを使った仕事、短期のアルバイトや早朝にポスティングをしたりしています。趣味は、写真撮影、書道、手芸、文章や詩を書く事。また、子供の頃から料理やお菓子作りが好きで、ご飯を作るのは日課ですが、忙しい事が多いので、ゆっくりキッチンに立てる時間がある時は、気持ちが落ち着きます。味の保障はありませんが・・・キッチンは私の聖域です(笑)。夫婦での趣味は車での旅や美味しいものめぐりにサッカー観戦。夫の趣味であるサッカー、フットサル、サーフィン、スノーボード、バイク等々は、必然的に私と子供達は影響を受けています。



この連載では、そんな私自身の家事・育児・仕事・趣味、多趣味な夫に付き合う私や子供達の事等、枠を作らず日常の様々な事とほんの少しの情報を載せつつ、皆様に息抜きをして頂ける様な記事を目指していきたく思います。読みにくい点や言葉足らずな部分もあると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

♪ 島根県・鳥取県への旅 ♪

記念すべき第1回のメインは、夫婦での趣味、『**車での旅&美味しいものめぐり**』。今回は、ゴールデンウィーク(GW)に旅した島根県・鳥取県への旅のお話です。

まず、旅のお決まりから。出発は休みの前日の夜で、それまでに、オイル・冷却水・空気圧・給油等、私に出来る車の整備等をし、最終チェックは整備士の主人

の役割です。家では荷造り。いつも、寝泊りは車内の為、洗面用具や寝具も必要で、今回は5月2日の夜から7日にかけてなので、ちょっとした夜逃げ状態(笑)。数日間家を空ける為、生ごみの処理・冷蔵庫内の管理・不要なコンセントを抜く等は、主婦としては欠かせない点です。また、食費節約の為、次の日のお昼までのお弁当と大量にお茶等を作って行きます。旅先のお店で無料水をもらい保冷すれば、飲み物はほとんど買う必要なしです。ご飯は、子供が小さいのと食費節約で、基本的にスーパーやコンビニで買い、車内で食べます。ケチだと思われるかもしれませんが、生活にゆとりがある訳ではない私達がこうして旅をするには、無駄や贅沢は厳禁なのです！と言っても、普段外食をしたりお惣菜を買わないので、どこでも選ぶのが楽しみ。同じメニューでも自分で作るのとは味が違うので新感覚です。何より、手軽で子供のお昼寝や機嫌を気にせず食べられ、更に食費を抑えられるので大満足です。もちろん、名物や気になる食べ物もしっかり頂きます。その為の節約でもあるのです。また、こうした年数回の外食で、料理のヒントをもらったりもします。

前置きが長くなりましたが、今回は2日の22時頃出発し、旅の為に主人が取り付けたETCを利用して、島根県を目指します。今まで、九州は鹿児島・長崎、四国は徳島、中国地方は岡山までと車で行きましたが、面白い発見があり節約にもなるので、基本は下道です。しかし今回は、大分と島根・鳥取間で遊ぶ予定はなく、ETCで1,000円なら・・・という事で、初の高速での大移動です。こんな事は滅多にないので、PAやSAを堪能し、無事3日の朝に島根県入り。高速を降りる時の「料金は1,000円です」の車載機アナウンスには、主人共々大感激でした♪

まずは石見昼ヶ浦で自然の神秘・不思議を目にし、しまね海洋館アクアスへ。楽しみにしていたシロイルカのショーは、妊娠中の為中止でしたが、運良く一度だけバブルリングを見られ、海の生き物、特にイルカが大好きなので、とても癒されました。次に、仁摩サンドミュージアムと琴ヶ浜です。こちらは、出雲大社・八重垣神社と共に、ドラマ&映画『砂時



計』のロケ地になった所で、一度行ってみたかったのです。サンドミュージアムでは、刻々と過ぎていく時を感じ、琴ヶ浜では、鳴き砂に主人も娘も大喜びで、綺麗な夕日を浴びながら4人で大はしゃぎでした。締めは世界遺産、温泉津温泉。地元の方用の小さな銭湯が2つあり、GWのうえに時間帯も悪く人が多く、赤ちゃんは湯船に入れないとの事で、当時5ヶ月の次女と一緒に私は、湯船から手を出し抱え、1分程しか浸かれませんでした。人ごみが苦手な主人は、長女を洗って温ませたらすぐに出てきたそうで、満喫したのは長女だけでした。でも、行かずに終わるよりは、これでも行ったといえるはず・・・です（苦笑）。



4日は世界遺産の石見銀山へ。日本で14番目に世界遺産に登録された坑道と古い町並みを見るべく、朝8時に行きましたが、営業前なのに駐車場は大渋滞。結局、かなり戻って臨時駐車場に停め、近くまではシャトルバスです。石見銀山は、外部の車を進入させない取り組みをしている為、目的の坑道までは徒歩かレンタル自転車かタクシー自転車で向かいます。子供がいる私達は自転車には乗れず、高額を払うのは馬鹿らしいと歩き始めたものの、坑道に着いたのは2時間後。次女を交代で抱っこしていると、いつのまにか長女までも・・・。パパ、ご苦労様です（苦笑）。また、坑道近くで多くの方がきゅうりを食べていて、ごく普通の塩もみきゅうりですが、こういう時には食べたくなるもの。1本150円とは、いい商売です（笑）。それから15分ほど坑道内を見学し、急ぎ足で戻って1時間半。そこから反対方向に古い町並みがある為、もういいといった表情の主人に「美味しいパンがあるらしいよ」と釣り歩き始めましたが、名物パンは売り切れで長女も眠そうだったので、1時間



ていて、ごく普通の塩もみきゅうりですが、こういう



時に食べたくなるもの。1本150円とは、いい商売です（笑）。それから15分ほど坑道内を見学し、急ぎ足で戻って1時間半。そこから反対方向に古い町並みがある為、もういいといった表情の主人に「美味しいパンがあるらしいよ」と釣り歩き始めましたが、名物パンは売り切れで長女も眠そうだったので、1時間



ほどで引き返しました。案の定、寝たうえにおもらし。主人は長女を変な体勢で抱えたまま歩き、車に戻ったら17時でした。今まで色々な所に行きそれなりに歩きましたが、香川県の金刀比羅宮以上に過酷でした。その後、出雲大社周辺の建築物を見学し、温泉に入ったらこの日は終了です。



5日は、朝6時から一人で出雲ドームや大社プレイス等を見学し、主人と娘を起こして、出雲大社の大しめ縄にお金を投げ込み参拝です。ここもまた、朝からいい運動でした。その後、島根県立美術館→宍道湖うさぎ→八重垣神社の鏡の池で娘の縁占い→牡丹の産地、大根島で花観賞→鳥取県に入り、水木しげるロードへ行きました。水木しげるさんは『ゲゲゲの鬼太郎』の作者で、通りには、妖怪の像・お店・広場・記念館・スタンプラリー等があり大賑わいでした。名物も沢山あり、鬼太郎ソフト、じゃこコロケ、大きなた



こ焼き、鬼太郎まぐろラーメン、妖菓『目玉のおやじ』、長芋とお餅を混ぜ



た『ねばりっこ餅』、しおソフト。と、人が多くゆっくり見れない分、珍しい物や美味しそうな物を食べ尽くしました。けれど駐車場は遠く、通りを端から端まで歩くだけで1時間以上。すぐにお腹が空くのです（笑）。そして、この日のお風呂はなんとガソリンスタンドにて！本当は温泉の予定でしたが、車も人も大混雑で諦めていた所、立ち寄ったスタンドでユニットバスを発見。トラック運転手の方等が利用するものだと思いますが、これもいい体験だと4人で入浴です。脱衣室では次女が初の寝返りをし、こんな所で・・・と笑いつつも、気分はさっぱりです。その後、コナンロードでコナンの像を見て鳥取砂丘へ。

6日は朝6時から砂丘散策です。これまた距離があるうえに、砂に足をとられながら、次女というウエイトを抱えて砂の山を登りました。私は比較的緩やかな部分を登ったのですがそれでも大変。ところが長女は、

写真のように果敢にも急勾配な場所をどんどん登っていき



ます。それに付き合う体育会系の主人ですら、最後はヒィヒィ言う程なのに、子供のパワーはすごいものです。登ってきた道を上から見下ろすと、足がすくむ程でした。そして、あんなに頑張ったのに下りはあっと言う間。砂の山を一気に駆け下りるのです。バランスを崩して転がる人もいましたが、ジャンプしたり高速で駆け下りたりすると、見ている人から拍手がおきていました。主人も挑戦し、あまりに楽しそうなので、私も子供を下ろしてから再び登り挑戦しましたが、走り出したら最後・・・足が止まりません。最初は怖かったですが、やってみると面白く朝からハイテンションでした。鳥取砂丘を出てからは、道の駅を巡り、三朝温泉の足湯（1枚目の家族写真）で疲れを癒し、夜はSAで就寝。下りのPA・SAを堪能しつつ、帰り着いたのは7日の18時過ぎでした。

今回の旅の走行総距離は1371km。車もよく走ってくれましたが、私達もよく歩いた旅でした。どのくらい歩いたのか、万歩計つけておけば良かったかな（笑）。

鮎美ママは見た・・・(@_@)

<セルフレジ>



<まるでチョコQ!?!>

左は愛車。右は偶然停まった同じ車・・・なのですが、車体を上げすぎていて玩具の様です（笑）。

<SAに日本庭園>



<車のプロです☆>

ライトが切れたので交換中。旅の途中で車が故障しても、主人がいれば大丈夫！心強いです♪



高山家を選ぶ 美味・珍味 Best3!

● 食事系部門 ●

1位-ねばりっこ餅

(水木しげるロード)

『ねばりっこ』は長芋の新品種で、まさに長芋とお餅の黄金比!のりと塩がよく合います。



2位-鬼太郎まぐろラーメン

(水木しげるロード)

癖のないスープで、わさびを入れるとまた違った味を楽しめ、新しい味でした。



3位-犬挟り丼(道の駅 犬挟)

ご飯に、味噌わさび・のり・ねぎが乗っていて、シンプルで美味しいです。家でも作って食べました。



● 甘味系部門 ●

1位-生クリーム大福餅

美祿の四季(美東SA)

冷凍されていて、半解凍が食べ頃。本当に美味!類似品を探し、実家へのお中元に選んだ程のヒット商品です。



2位-ねばりっこソフト

(道の駅 北条公園)

日本初の長芋のアイスで、混ぜると面白い様にフワフワと膨張してきて、トルコアイスの様にも伸び、食感が不思議でした。新感覚のソフトクリームです。



3位-プリンソフト(美東SA上り線)

少し苦味のあるカラメル味と甘いプリン味のソフトクリームのミックス加減が絶妙でした。生クリーム大福餅とこれの為に、美東SAに行く価値あります!



以上で、今回の旅のお話は終わりです。いかがでしたか? ご意見・ご感想等ございましたら、どしどしお待ちしております。

(yotsuba-de-happy@hotmail.co.jp)

♪ ちょっと一言 ♪

最近の長女の口癖は・・・「ママ怒らないでえ」です。悪い事をした時にこれを言われると困ります。色々な知恵がついてきて、今後が楽しみやら怖いやら(苦笑)。

『建築士の集い』

— in 鹿児島大会 —

宇佐支部 奥田 和彦

宇佐支部では鹿児島をおもいっきり満喫しようとみんなで大会の資料づくりやセリフ合わせから楽しく進めてきました。大分の選考会ではそんなに感じなかったのですが、資料作りを進めていくうちに宇佐支部の活動内容の実績が改めてわかりました。市の都市計画課の方々とともに進めてきた1年でしたが、目に見える形で5件も修景できたことが何よりも大きな成果だったと思います。

いざ鹿児島の会場に入るとホールには、各県が発表する補足資料としてプレゼンボードが来場者の目につきやすい場所に展示されていました。各県の候補だけあって様々な角度からの地域実践活動の内容が展示されていました。たまたま宇佐支部の活動が地域実践活動に該当するというので「町づくり修景活動」をテーマにしました。竹をリサイクルするため炭をつくるものもあれば、ひび割れのすくないコンクリートの施工方法だったり、区画整理に伴う町づくり計画などおもしろい地域実践活動の内容ばかりでした。

地域実践活動の発表の順番がトップバッターということもあり、みんな少し緊張気味でしたが、大分県からの心強い応援団の存在も勇気づけられました。



この大会で宇佐支部の活動内容は全て発表したのですが、1つだけ宇佐支部しか知らないエピソードがあります。それは大会直前まで迷っていたのですが発表の最後に「建築士の歌」を音楽で流して終わらせよう

という案でした。意外とこの歌は建築士の中でも知られていないのでインパクトはあるだろうと思っていたのですが、歌があまりにも昭和初期のイメージというか少しトーンが重いので、直前まで迷っていました。でもせっかくだからという事で流すことに決めました。

いざ大会が始まり、僕ら宇佐支部の発表です。渡辺さんのナレーションとパワーポイントの映像がぴったりと合い非常に分かりやすい発表だったと感じています。そして残り40秒ぐらい残して予定通りナレーションが終わりました。僕もいい感じで「建築士の歌」が流れるんだろうなと思ってわくわくしながら見ていたのですが、歌がなかなか流れません。その間数秒だったと思います。しばらくして、渡辺さんが「ご清聴ありがとうございました」ということで発表は終わりました。宇佐支部のなかでは「え～どうしたんだ！」という思いでいたと思います。

各県の発表が終わり渡辺さんにどうしたんですかとたずねたら「再生するけど音楽がながれんのや～」と言うのでみんなでCDプレーヤーを確認するとやっぱり音楽は流れません。大会直前に何度も確認して音楽は流れていたのに壊れている可能性はないのです。よく確認したら一時停止のボタンが押されていて音楽が出なかったみたいでした。これに気づいたみんなは大笑いです。(みなさんも気をつけてくださいね！)

その事が良かったのか、悪かったのか結果は2位でした。1位は地元の鹿児島県が優勝し、全国大会の切符を手に入れました。

結果は残念だったのですが、鹿児島大会ではいい思い出が出来ましたし、貴重な経験もさせてもらいました。何より鹿児島の黒豚・芋焼酎は最高に美味しかったです。まだ宇佐支部の修景活動は終わったわけではなく、さらに継続していきますので次回また機会があれば参加したいと思います。



女性部会の page

平成21年度 全国女性建築士連絡協議会(長野大会) 報告

テーマ「地域と共生する住環境づくり」 ～建築における「環(WA)」を考える～

日程・場所 平成21年7月17日(金)・18日(土)

■ 1日目 ……………

～若里市民文化ホール～

【全国女性部会長会議1】 12:30～14:00

【開会式】 14:30～14:45

【基調講演】 14:45～15:30

【パネルディスカッション】 15:45～17:45

【全国女性部会長会議2】 18:00～18:45

～ホテルメルパルク長野～

【懇親会】 19:00～20:30

■ 2日目 ……………

～長野市生涯学習センター

(TOiGO WEST 3・4階)～

【分科会】 9:10～11:25

A分科会 「循環型社会」

B分科会 「建築をとりまく制度と建築士会」

C分科会 「健康住宅」

D分科会 「建築物の再生活用」

E分科会 「歴史的な建物とまちなみ」

F分科会 「子供と住環境」

G分科会 「高齢社会」

H分科会 「集まって住む」

【全体会】 11:45～12:30

<解散後>

【エキスカッション】

Aコース 香道体験と善光寺 表参道体感コース

Bコース 遊学城下町・信州松代 体感コース

Cコース 「小布施方式」 街並散策コース

Dコース 初夏の安曇野・松本 散策コース

平成21年度全国女性建築士連絡協議会は、7月17日、18日の2日間にわたって長野市で開催され、「地域と共生する住環境づくり」～建築における「環(WA)」を考える～をメインテーマに、地球温暖化対策、CO²削減、循環型社会構築のために「産・官・学」

それぞれのスタンスから、ものづくり(環境・景観・街並み・建物等)における連携の提案が協議されました。

1日目の基調講演では、『ふるさと信州・環の住まい』とその背景』をテーマに、工学院大学工学部建築学科教授の吉田倬郎氏がお話されました。

その後のパネルディスカッションでは、テーマを『建築における「環(WA)」を考える～建築における「環」と「産・官・学・民」のネットワーク～』と題して、コーディネーターの高木直樹氏(信州大学工学部建築学科教授)を中心に、基調講演から引き続き吉田倬郎氏、その他、市村良三氏(長野県小布施町長)、石川利江氏((有)ISHIKAWA地域文化企画室代表取締役)、出澤潔氏((社)長野県建築士会名誉会長)をパネリストとして、それぞれの立場でのお話をされました。



2日目の分科会では、A～Hの8つの分科会に分かれ、講演や報告、話し合い等が行われ、全体会を終えた解散後には、エキスカッションとして、色々な体験や街並み散策が開催されました。

20回を迎えた今大会では、『託児ルームの設置』という新しい試みがなされたこともあってか、大会史上最高の参加登録者422名を数え、懇親会も、過去最高の330名を越えたそうで大盛況でした。エキスカッションでは、160余名の参加者が集まり、会としては有意義な2日間となった事と思います。

来年は東京で開催です。皆様、是非ご参加下さい。

心に染み入る 一人旅



女性部会長 阿南 春美

<善光寺>

私は、全建女に毎年参加してきましたが、今回が初めての一人旅となりました。そして、今年は7年に1回しかない長野善光寺のご開帳の年でもあり、一人半に引かれて御参りをするか(笑)・・・と、少し寂しいですが、まずは街並みを見ながら長野を感じようと、長野駅から善光寺までゆっくり歩いて1時間。最初に感じたのが、さすが信州!ソバ屋さんがあるある。お土産屋さんも沢山。楽しいー!!いやいや・・・お参りが本来の目的です。お土産じゃーないよ(笑)。

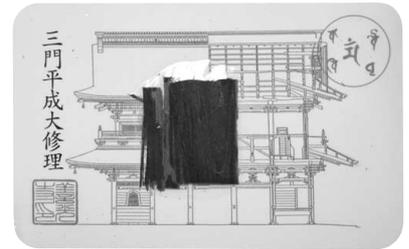


そして、善光寺のお戒壇巡り。何も知らずに入ってしまった・・・暗闇・・・何も見えない・・・少しの光も・・・。ご本尊の周りを歩くのですが、何分見えなかったのだろう・・・長く感じました。この全く見えない時間に思ったことは、「目の不自由な方は、こんな暗闇の世界を頑張って生きているんだ。」という事です。頭が下がる思いです。素直にそう思い、目の見えることが当たり前だと思っている自分が恥ずかしくなりました。



こんな思いを抱いて全建女に参加し、東京までの新幹線に乗り込んだところ、偶然にも、善光寺にお参り

をされていた長野在住のご婦人と同席になり、自分の思いを話しました。すると、そのご婦人が降りる前に、私に、「これ、善光寺の木の瓦の一片です。葺き替えの時に頂いたものですが、これを貴方に差し上げます。私はまた頂く機会がありますから。」と。ありがたい・・・大事にせねばと思いました。



<信濃美術館>

この日は、トトロの森等を描いた、宮崎駿監督作品の絵職人『男鹿和男展』が行われていました。「となりのトトロ」「おもひでぽろぽろ」「平成狸合戦ぽんぽこ」「もののけ姫」「ハウルの動く城」と、スタジオジブリ作品の美術監督を務める、絵職人・男鹿和雄の背景美術展です。来館者は、信濃美術館だけで11万人。東京から始まって、現在で80万人を超えたそうで、次回は新潟であるとの事です。映画で見ても、リアル感がすごいなあと思っていましたが、まさかここまで計算し尽くされているとは・・・絶句です。目の前に立つと、一瞬でその場にいるかの様な錯覚をしてしまう程の精密な風景に、アニメでここまでするのか・・・と、久しぶりの感動と歓喜でした。これは見てほしい。是非!



▲信濃美術館 ホール前

シリーズ 登録文化財 No.27

「帆足家分家住宅（松石不老館）」

大分市戸次本町

大分支部 石井 鏡成

戸次本町は、古代より大野川沿いの交通の要衝として重視され、江戸時代には城下町と対置される在郷の中心として形成された日向街道筋の在町であった。同地区の大庄屋（臼杵藩）であった帆足本家は、豊後南面の大家田能村竹田や儒学者頼山陽などの文人墨客との親交が深く、戸次本町は文化の薫る農村商易の中心地として繁栄を極めた。地区には江戸時代末期から戦前にかけて建てられた歴史的建築物が現存・活用され、地区固有の伝統的な文化が今も息づいている。

帆足家分家住宅は戸次本町街並み保存地区の中心にあり、本町通りに面して桁行八間半、梁間六間の入母屋造り主屋が、戸次地区の特徴である水害対策の石段の上に建ち、今も当時の威容を誇っている。



帆足家分家住宅は主に明治中期の建築で、主屋、新座敷、道具蔵、質蔵、門、塀、など敷地内に残る11件すべてが登録有形文化財として平成17年に登録されている。建物配置は道路に面して「主屋」、その奥に「離れ」が設けられている。「主屋」の北側は広大な庭園になり、北西部に「質蔵」、その西に「道具蔵」が位置している。更に敷地の西側には「主屋」と裏坪を挟んで「味噌蔵」「穀物蔵」が並び、敷地の南西隅には「裏2階（隠居部屋）」が設けられ、1階は裏口としての通路になっている。



帆足家文書によると、「主屋」は2代目・帆足収蔵代の明治39年の建築になり、基本的には町屋形式からなっている。平面は大きく二つの部分に分かれている。階段より南側の「通り土間」「みせ」「ざしき」が町屋形式で、北側の「ひろま」「次の間」「座敷」が接客部分である。特に接客部門の各部屋の意匠は優れ、近代の大工技術の高さが窺える。「道具蔵」と「質蔵」にはなまこ壁が見られる。井戸の切り妻造りの屋根は当時の生活を知る上で貴重である。「穀物蔵」は当家で最も大きな蔵で、豪壮な造りである。

帆足家分家の雅号「松石不老館」は、分家を度々訪れていた豊後南画家・帆足杏雨が庭園に配された石の間に植えられた松を眺め、命名したと言われている。

パッション・ イン・宮崎への いざない

青年部相談役 後藤 憲二

しちみろかい

今回のパッションのキーワードは“しちみろかい”です。なにになにしてみよう！という時の宮崎の方言です。ということで今回のパッションの開催地は宮崎県日南市です。

大分県でも似たような言い方をしますよね。“しちみようや”とか言いませんか？隣県なので近い方言なのでしょう。

日南市

今回の開催地日南市は、宮崎県の南部に位置し、東は日向灘に面し、西は都城市と三股町、南は串間市、北は宮崎市の3市3町に隣接しています。又、市の海岸部（日南海岸）は、鋸歯状に岬や湾が続くリアス式海岸で海岸線の美しさから、日南海岸国定公園として指定されており、一方、鰐塚山系、尾鈴山系の山々に囲まれた山間部には、集落が点在し、豊かな森林資源を有しています。このように、日南市は透き通るような蒼い海と、緑の山々に囲まれ、一年を通して、温暖な気候に恵まれた自然豊かな町です。かつては新婚旅行のメッカでした。私は、小学校の修学旅行で行ったことを覚えています。

パッションのテーマは…

今回の開催のテーマは「ものづくりをとおしてのコミュニケーション」～いろんな作業からひろがる情熱・連帯感～です。

今回のパッションは、従来と志向を大きく変えています。分科会型式とせず開催地日南市にちなんだ「ものづくり」を参加者全員で行おうという大会です。

パッションの開催目的である開催地の地産地消に触れるということに更に踏み込んだものです。士会会員のみでなく会員のご家族が参加されてもとても楽しめるのではないのでしょうか。

ホストの宮崎県建築士会は、日頃の慌ただしさから開放され、これからを担う子供達と一緒に色々なものづくり又は色々な活動を通じて楽しみ、熱中し自分の中に潜んでいる子供の頃のような情熱的でピュアな心呼び覚まして頂きたい。又、みんなの情熱を形にした物は地域の方々に使って頂くと共に、町並み形成に役立てて頂き、我々建築士会（建築士）の人柄や存在を多くの人にアピールし、その名を幅広く浸透させたい。と張り切っていますよ。

今回のものづくりは以下のレポーターからの選択になっています。

・ 鉄肥杉材を使っていろんなもん つくっちみろかい！

宮崎県内の高校生のデザインによる家具（ベンチ等）を製作します。製作した物は全て建築士会の刻印をしたうえで日南の公共の場に設置します。

・ 竹を使ってもものづくりをしちみろかい！

箸入れやコップなどを製作し懇親会で利用します。製作したものは持ち帰って使用していただきたい。

・ 日南のうまいもんくっちみろかい！

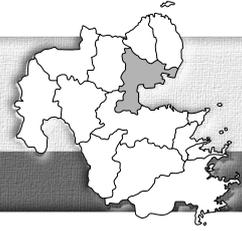
郷土料理を調理し懇親会で皆さんごちそうになります。

・ 鉄肥杉の苗をうえちみろかい！

タイトルそのままです。杉の植林します。

通常、パッションは2月開催なのですが今回は1月30日（土）の開催です。開催地の日南市は、皆さんご存知の通りプロ野球やプロサッカーのキャンプ地です。2月1日から早速プロ野球のキャンプが始まります。宿泊場所の関係で今回は1月の開催です。日程を少し延ばしてキャンプ見学もいかがですか。日南市では、広島、西武が宮崎市では、巨人とダイエーがキャンプを行います。

大会も含めて家族サービスを兼ねるにはもってこいです。もしかするとあの名物知事に会えるかもしれませんよ！！



築城400年熊本城 (本丸御殿)を観る！

別府支部 工藤 圭介

別府支部では、隔年で1泊2日と日帰り研修旅行を企画しており、今回は日帰りの年で、総勢31名で熊本を訪ねてきました。

- 7:45 別府駅 建築会館経由
(大分自動車・九州自動車道)
- 10:50 熊本城(本丸御殿)
- ↓
- 12:40 昼食(ホテル日航熊本)
- ↓
- 13:50 旧細川刑部邸
- 14:30 新町・古町街歩き
- ↓
- 18:00 別府
- 18:30 忘年会(別府市内)

熊本までのバスの中では、日出町のまちづくり活動の一環で製作された特攻「回天」基地のDVDを浅野氏の解説付きで見させていただきました。おかげで、熊本までの2時間半も、あっという間でした。



<熊本城>

熊本城は、築城400年に向け、南大手門を始め一帯の整備復元が着々と続けられる中でメインとなる本丸御殿の復元ついに平成20年4月完成しました。

入口のアプローチは、全国的にも珍しい2つの石垣の間の「闇り通路」地下通路です。当時も正式な入口だったそうです。

大御台所では、大きな丸太の小屋組や、6mの広縁からの大広間そしてメインの昭君の間と、当時の大名文化の絢爛豪華さを垣間見た気がします。



昼食はホテル日航熊本で、熊本名物の太平燕(たいぴーえん)をいただきました。びぶれす熊日会館という現代美術館やファッションビル等の複合ビルで平成14年に市街地再開発により建てられました。



<旧細川刑部邸>

細川家3代忠利の弟、刑部少輔興孝が1678年に子飼に下屋敷として作られ、その後も造作が続き現在建坪300坪と、全国有数の武家屋敷としての格式と規模を誇っています。平成2年に、現在の熊本城三の丸の地に移築されました。紅葉の季節と重なったこともあり、自然との調和も十分堪能できました。



当時の良さを残しつつ現代の使用環境に合わせ修復及び改修・補強を施しています。当時の開放感のある事務スペースの吹き抜けも冷暖房の面では不便ですが、輻射熱を利用した自社の空調設備により快適に過ごせるそうです。

ピーエス熊本センターさんのご厚意で内部見学と詳しい説明もしていただきました。



<古町・新町>

新町は、古くからの商人町で戦国時代に被災したのち細川氏の時代に再興されたことから「新町」と呼ばれるようになりました。古町も同様に古くからある商人町で、明治以降は多くの卸問屋で栄えた名残を今も垣間見ることができます。



ココから輻射熱が

<最後は>

研修の荷物もそのままに忘年会会場へと、旅の疲れもありましたが、なぜかいつも以上に盛り上がりました。



※ちなみに、これは去年(平成20年11月29日)の研修旅行の報告です。今年は1泊2日で企画中です。

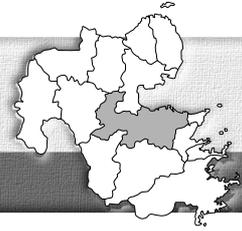
<ピーエス熊本センター(旧第一銀行熊本支店)>

改修工事

設計者 トーベン・ピンドネス

施工者 (有)サンワ工務店・(株)伍代建設

西村好時の設計により大正8年に建てられた地上2階地下1階の鉄筋コンクリート造で、時代の流れて解体寸前であったものをピーエス(株)が自社ビルとして修復保存されました。



清掃ボランティア

大分支部 岡崎 光輝

さすがごみゼロ大分を推進している街です。一見したところ平和市民公園はキレイなもの、一体何処を掃除したら良いんだろう・・・。

7月5日(日)、大分県建設合同労働組合さんと合同で、大建労さんの事務所がある萩原商店街と平和市民公園のボランティア清掃を行いました。

参加者は大建労さん関係者17名(内子供1名)、士会関係者9名(内子供3名)の計26名です。



当日朝の天気はすぐれず、集合時間のAM8時頃には一段と雨脚が強くなってきましたが、開催挨拶と掃除区分の説明が終わり、「さぁ頑張るぞ!」と掃除に取り掛ると、それまで降っていた雨がピタリと止んだのでした。なんてラッキー!



予想外にキレイな公園で最初は戸惑いましたが、よく見ると植え込みの中や、ベンチの下、側溝の中など、あちこちに長年忘れ去られていたようなゴミが捨てられていました。

結果的には萩原商店街分と合わせて、ゴミ袋約10袋分の大収穫になりました。



参加者の中には私を含め、子供連れの方がいたのですが、そんなちびっこ達の為に、宝物探しの感覚でゴミ拾い出来るようにと、大建労の方が事前に当たり付きの空き缶を隠しておいて下さいました。お陰で子供達はあっちこっちを探し回り、楽しんでゴミ拾いが出来たようです。



汚さないことが一番ですが、掃除をすることで街がキレイになると共に、自分自身も清々しい気分になる事が出来ました。住む人、使う人の心がけひとつで、よりキレイな街へと変わって行きます。みなさんも出来るところから始められては如何でしょうか。

建築と住まい九州編



日田支部 養父信義

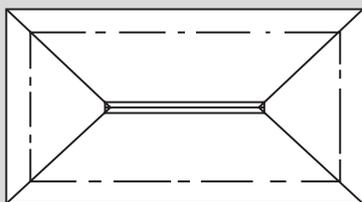
人類が発生すると必然的に衣食住が求められました。着衣は無くとも、野宿であろうとも、まずは生きるためには食が一番。腹が満たされてくれれば裸でいることが恥ずかしくなったり寒かったり。また、住まいも雨風が凌げるところがほしくなったりしたことでしょう。古代では雨風を凌ぐ洞窟や横穴の住居であったことは歴史が物語っています。時代の流れに従い掘建て小屋から現代建築へと進んできました。寝るだけの住まいから機能的要素を取り入れた住まい方、断熱や通気・環境などの居住性が求められ、幾多の要素を満たすことが求められ今日になりました。長い年月を掛けて、その土地にあった住まい方や建築の手法が培われて来ました。私どもの日本列島は北から南まで細長く、気候風土には大変な違いがあります。一般的に北の東日本は寒い、そのために直火を使用し寒さを遮断する。つまり、居住空間に調理と暖房を兼ね備えた囲炉裏を設ける。薪を燃やすことにより室内上部空間に

煙が充満し冷気との遮断が計られることになる。

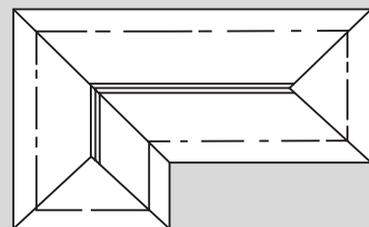
一方、南の西日本は暖かく夏は暑い。調理の火を母屋から離し、土間部分に竈を設ける。夏季の外部からの熱気を遮断する方法として、土壁や大和天井などで囲む。北部九州地方での居蔵造りなどでは、3尺角の窓が2～3箇所開放された状態でも外気温が36度で室内温度は28度、なんと温度差が8度もあった。夏季はウチワ一つで、冬季は火鉢に炭で過ごせたのも頷ける。東日本の直火使用で板壁の住まいと、土で囲まれた西日本の住まいの違いを気候環境による違いだけで考えて良いものか？。他の要素も加わるのでは無いか？。

歴史的見地から検証された論文を読んだ記憶がある。(どんな雑誌か、何方が書かれたか定かでなくろ覚えであるが、それを基に独断と偏見を交えた私見を述べる) 縄文から弥生時代へと農耕文明が発達してくる、室町・戦国時代に進むと日本社会は大きく変わり武士団の発生を見る。弥生時代からの農業技術の向

九州の建物形態。(民家)



1:直家型



2:鉤屋型

上で経済力がつき、定住が固定化し、本格的住居が建てられる。これ等を守る武士団は領地の拡大を念頭に置き戦乱へと突入する。戦乱に明け暮れた地域とそうでなかった地域では大きな差が生じてくる。手じかにある材料での家屋構成や熱源としての木材消費であるものが、戦乱の多い地域は砦や防御柵・武器などの戦略的な消費で木材の利用形態と消費量に変化が生じる。その結果住まいに廻す木材が少なくなり、人命や財産を守るために板壁より強い土に囲まれた家屋へと発展する、いきおい西日本の民家は土で塗り込められ人命や財産の保持、断熱性機密性が高められた火鉢暖房の住まいになる。北の東日本では戦乱の中心から離れていたため森林資源は豊富で板囲いの囲炉裏中心の暮らしが出来たとも言える。

(平和で有れば森林資源は育ち、地球環境にも優しい。但し、放置林は良くない)

平成18年から3年間、宮崎高岡町の薩摩藩関所代官の住宅の保存修理に携わることが出来た。同じ九州内でも所変われば品変わるの喩えの如く多少は変わると思っていたが予想を超えていた。まず、外壁が板壁の仕様である。江戸後期頃には土壁と板壁の併用が見られるが、年代が遡るものほど板壁仕舞と考えられる。間仕切りの建具は全開口で仕切れ風通しを十分に配

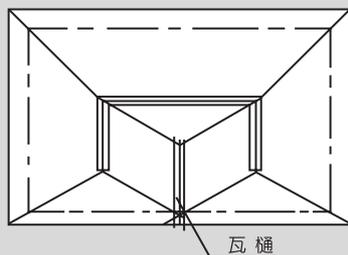
慮している。夏季の暑さ対策に重きを置いた造りで、冬季は直火の囲炉裏であろう。また、以上のこととも合わせて形態的に大きな違いが見られる。住まいが2棟で構成されているのである。「オモテ又はイエ」と呼ばれる座敷・寝室の居住空間部分。「ナカエ」と呼ばれる煮炊きする土間台所や茶の間の機能を持つ2棟に分かれている住まいである。その種類も大別すると3種類に分けられる。まず「ナカエとイエ」が離れて建つ(二棟式分離独立型)。「ナカエとイエ」を切妻屋根の廊下で連結した(二棟式廊下連結型)。「ナカエとイエ」の屋根が接続しその谷の部分に竹樋を渡し板張りの「テノマ」で区分した(二棟式分棟型)に分けられる。

(二棟式分離独立型)は鹿児島県の南方の島々に分布する。

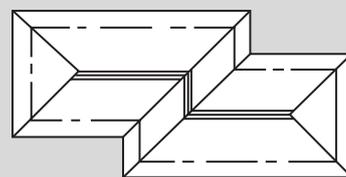
(廊下連結型)は事例も少なく伊佐市などに3例知られている。

(二棟式分棟型)は薩摩藩内各地に分布する、特に知覧地区・川内川流域・川辺地区・霧島山周辺部に数多い事例が見られる。

二棟造りの北限は、宮崎県佐土原町であったとのこと。つまり、その分布は薩摩島津藩領と同じ拡がりである。又、薩摩藩では1550年頃より西南の役まで藩内での戦乱は無かった地域でもある。



3: クド造り

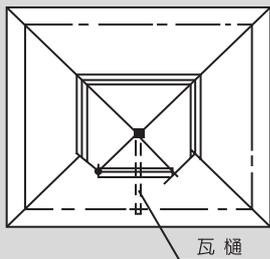


4: 両鉤型

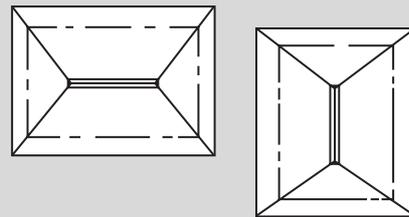
日本民家の基本形は直家であり、これに突起部を設けた「鉤屋（曲家）」などが全国的に分布している。前述の二棟造りは薩摩藩域のみに分布し、鹿児島県堺の熊本・薩摩領以外の宮崎県まで南下している。他には鍵屋から発展した「両鍵屋（Z型）造り」・「クド造り」・「ジョウゴ造り」などがある。「ジョウゴ造り」は「クド造り」から発展したもので、佐賀県川福町に数戸事例が見られたとのこと。「クド造り」は佐賀県南部から長崎県東部（旧鍋島藩領）に掛けて多くの事例が見られる。熊本県には玉名・八代・菊池等に数戸、福岡県では甘木・田主丸・朝倉・浮羽の山間部に見られ、大分県日田市に矢羽田家（重文）と咸宜園秋風庵（国史跡指定）の当初建築部分が「クド造り」である。

九州内だけでも地域によってこのように違いが出

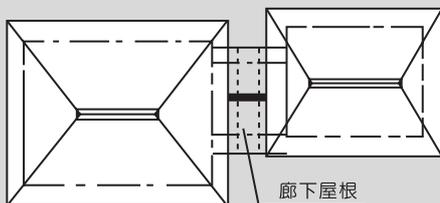
る。手近にある材料を使い、気候風土に合わせた住まいを作り生活してきた。此処には地産地消が生まれ、容易にリサイクルの可能な家にもなっている。又、住人自らも作業に参加することで住まいを把握していたし、愛着も強かったのではと思う。現在は文明の発達とともに行動半径は拡がり、経済の高度成長により建物は画一化され日本全国どこでも同じ住まいの時代となってしまった。住まいの気候環境は機械制御され、屋外へは室外機からの熱気で気温は上昇の一途。高気密高断熱化が進んだ現在の建築から地域性を見出すのは困難になったが、今また、古建築への回帰志向が広がりつつあると感じている。やはり、地域の環境風土にあった住まいに無理がないのだと思う。



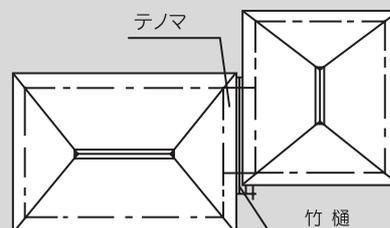
5: ジョウゴ造り



6: 二棟式分離独立型



7: 二棟式廊下連結型



8: 二棟式分棟型

MY WORK

- ★建物名称 T様邸新築工事
- ★建築場所 中津市
- ★設計者 櫻木 弘三郎
- ★施工者 (有)櫻木総合建築
- ★構造・面積 木造2階建て 150.71m²
- ★用途等 専用住宅
- ★竣工 平成21年4月
- ★設計趣旨

中津市の振興住宅の一画に位置する建築地は北側の前面道路以外の3面を隣地に囲まれている。道路側に駐車スペースを確保しなければならないので必然的に敷地の奥まった側に建物を配置することになった。採光、日照を確保する為に凹の字型の形状、総二階中庭のプランとした。

素足のまま行き来できる中庭を挟んで対面するようにリビングとキッチン。2階は同様に子供室と主寝室を配置し、どの部屋に居ても中庭を介して家族の気配が伝わるように…と計画してみた。

長さ4.2m天然木のオーダーカウンターキッチン、間接照明を埋め込んだTVボード、造付手洗いカウンター等を造作している。



- ★建物名称 大分スバル日田店
- ★建築場所 日田市十二町553-3
- ★建築主 大分スバル自動車(株)
- ★設計者 (株)後藤建築設計事務所
- ★施工者 西日本土木株式会社
- ★構造・面積 S造2F建 542.29m²
- ★用途等 ショールーム及び整備工場
- ★竣工 平成21年8月
- ★設計趣旨

当社で23年前に手がけた物件のリフォーム事例です。長年、多くの方に愛着をもって利用された施設は親密な雰囲気を醸し出していました。こうした印象を損なうことなくリニューアル出来ればと提案しました。

色々と制約が多い中、お店のスタッフと業者さんが一丸となりより良いものを目指して頑張ってくれた姿勢が印象的でした。

これからも地域に根ざしたお店として愛されればと思っています。



MY WORK

- ★建物名称 但馬屋老舗
- ★建築場所 竹田市上町40番地
- ★設計者 (株)松井組一級建築士事務所
- ★施工者 (株)松井組
- ★構造・種別 木造2階建 修景工事
- ★設計趣旨

江戸時代からお菓子屋を営んでいる但馬屋老舗は、竹田市歴史的街並み景観保存地区に位置する。

店舗の部分と、作業場部分とは、別個の外観であったが、連続することで、街並み景観を形成するようにした。

下屋部分の瓦は既存2階屋根瓦を再利用している。

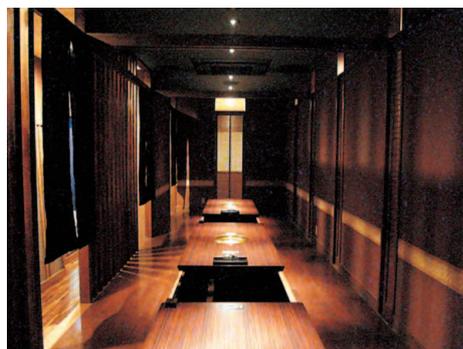
格子や建具は、古い写真に基づき出来るだけ再現することにした。



- ★建物名称 焼肉 円円
- ★建築場所 別府市北浜1丁目746-15
- ★建築主 緒方 圭子
- ★設計者 周設計工房
- ★施工者 (株)坂井建設
- ★構造・面積 鉄骨造 235.85m²
- ★用途等 飲食店
- ★設計趣旨

外観は、あえて焼肉店に見えないシンプルモダンなファサードとした。

内部は、敷地が狭く限られたスペースの中でカウンター、個室、団体席と客席に変化を持たせ、程よく視線を遮る落ち着いた雰囲気とすることで、お客様に時間を忘れゆっくり食事をしていただける空間構成とした。





My Best Book



マイベストブック

【風の骨】清水一行／徳間書店 三重支部 岡部 達巳

昭和27年6月2日未明、現在の大分県竹田市菅生の巡査駐在所が、あらかじめ内部に仕掛けられていたダイナマイトにより爆破されました。

直ちに、なぜか張り込んでいた約100人もの警官によって、何者かにおびき出されその近くにいた日本共産党員の2人が現行犯逮捕、さらに3人が逮捕されました。

これは戦後の混乱期を抜け出そうかとする時期に私の住んでいる隣町で実際に起きた事件です。

事件の真相は、当時勢いを増してきた日本共産党のイメージダウンを目的とした警察の「国家権力による自作自演の犯罪」と判明しました。

上司から命令を受けたある警官が、共産党員に近づき、おびき寄せ、自分で仕掛けたダイナマイトで駐在所を爆破して、その罪を共産党員に押し付けようとしたのです。

その実行犯と目されている警察官は一旦退職します。しかし、その後警視庁に勤務、トントン拍子に昇進したとのこと。その警察官はわが緒方町出身だそうです。

この本は、私の住んでいる身近なところで、しかも私の誕生する半年前の事件を題材にしているということで興味深く読みました。興味のある方は一読を。

ついでに、「資源・エネルギーと建築」（日本建築学会編／彰国社）も紹介します。これからの建築を創る上で参考になると思います。



【あさ／朝】谷川俊太郎・吉村和敏 佐伯支部 中田智佐美

このブックは右から読むと「朝」という詩集で左から見ると「あさ」という絵本になっているあたらしい形のビジュアルブックです。

小学校の国語の授業で谷川俊太郎の「朝のリレー」という詩に出会い、なんとなく好きだなあと思っていたけど、それっきりで・・・大人になってこの詩の事を思い出してどうしても詩集が欲しくなり、探した結果この作品にたどり着きました。

この詩が好きなのと、海外旅行が好きなのとは通じるものがあるような気がします。

何度読んでもやっぱり好きだなあと思えるこの詩を含め、朝に関する詩が清々しい写真と共に収められたこの作品はやはり朝起きて一人静かに読むと心が落ち着きます。

【ちいさなあなたへ】アリスン・マギー

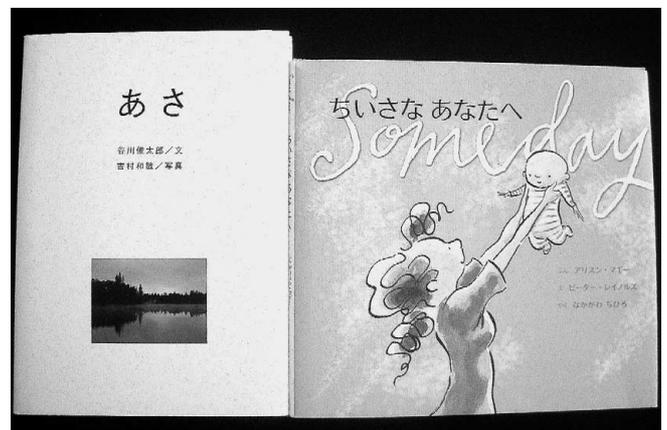
このあまりにも有名すぎる絵本は出産後に友人がプレゼントしてくれたものです。

初めて読んだ時、私は泣いてしまいました。

こどもとしての懺悔？おかあさんとしての現実？希望？よく分からない感情だけど、ひとつ分かっていることはこの絵本が私の手元に届いたことへの感謝です。

育児に疲れた時にこの絵本を読むと、イライラしていた気持ちが和らぎ、穏やかな気持ちでまた頑張ろうと思えます。

「すべてのおかあさんとその子どもたちに」と絵本に添えられているのですが、本当に一人でも多くの人に読んで欲しいと私も思いました。





My Best Book



マイベストブック

【ノルウェイの森】村上 春樹/講談社
宇佐支部 渡辺 賢一

とりあえず、秋ですわ～。

朝晩が冷えてくると、私たちの挨拶は「秋に、なりましたね～」で始まる。

で、我々日本人は秋がことのほか好きです。

ノスタルジックに朱く染まった空を見上げたり、ちょっぴり他人にやさしくなれるのは、郷愁（或いはココロを指す）人恋しさの裏返しでしょうか。秋の風は、人をメランコリックに誘う香りを含んでいます。

あ

本題です。

今回紹介の My Best Book は、1987年に発表された「ノルウェイの森」です。

翻訳やエッセイ（個人的にはこちらが好きなんですが）でも知られている、村上春樹氏の出世作です。主人公「僕」の日常と恋愛を描いた私小説であります。

時代はバブル崩壊に向けて加速スイッチを入れた経済膨張期。

カネで何でも手に入りそうなサクサクを見るヒトたちであふれた時代。

そんな中で、ココロは、空虚感に泣き、純朴なモノに帰還しようとし始めていた。

私も、無性にノドが渇き始めた。

当時、経済学を学んでいた私は、この本と出会ってからどっぴりとブンガクにハマることになる。やがて、時間が足りなくなり、長編小説から中編モノに移行し、短編から詩に移るまでにはそう時間はかからなかった。なぜなら、その頃バイトしていた居酒屋（オヤジはKO大文学部卒）にはよく詩人が集まり、彼らの詩集が個室の書棚にたくさん並んでいたからである。子供のころから空想癖のある私は、詩を書くようになり、ますます世間から遠ざかるきっかけとなってしまった、そんなキケンな本なんです。（高3の息子がアトを引き継いでいます）。

「ノルウェイの森」そのものがどうこうではなく、本なんかこれっぽっちも読まなかった私に読書の喜びを指南してくれた、そんな一冊なのです、これが。

IT、KTが普及してから我々の生活は随分と便利になりました。

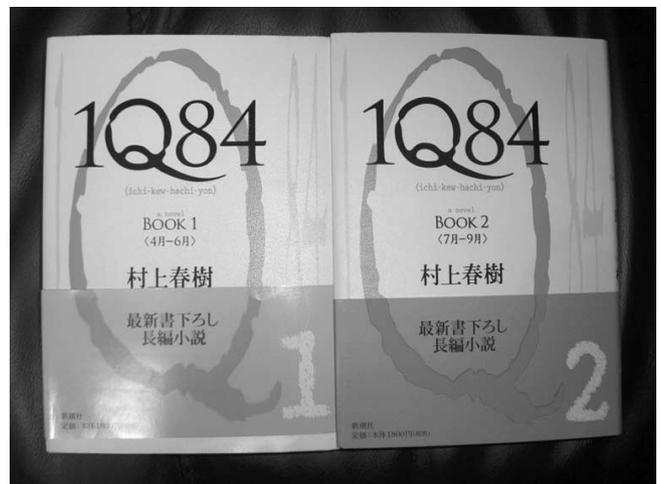
ただ、子ども達は人生がリセットできるものと信じて疑わないし、若者は将来を悲観し空に向かって飛ぼうとしない。オヤジたちは自分へのご褒美として一人用のシェルターを準備している。

あれから20年が経ち、再びヒトビトはなにか、無性に恋しくなっている。

村上氏は満を持して「1Q84」を出した。ノドが鳴るぜ！

読書の秋ちゃ！

※一筆書きのため、丁寧文と口語体文が入り混じって読みづらくなっていますが、ご了承ください。



PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



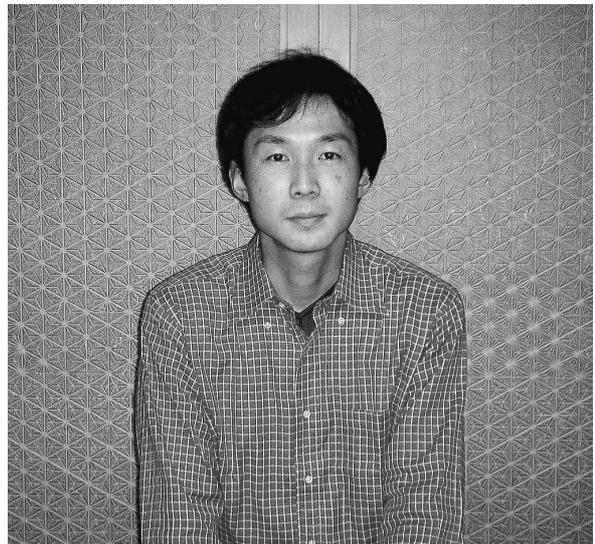
- ★生年月日 昭和44年6月2日
- ★勤務先 有限会社 板井建具店
- ★趣味 水泳、ホームセンターの工具コーナー巡り、フライフィッシングを始めたいたい・・・

★将来の夢、 Motto 一等

臼杵市で木製建具、家具製造を主業務としております。簡略化された木造建築工法の波に押され、ここ臼杵でも本物の空仕事が急速に減ってしまい、悲しい限りの今日この頃です。

より良い木造建築を残していこうと意気込んでいらっしゃる地元の設計士さんや大工棟梁さんに御協力と御指導を受けながら日々空仕事の勉強中であります。

私たちの世代で伝統技能が途絶えない様にしていきたいと同時に、古来の美しい空技能を現代のデザインに調和させられたら幸せです。



板井 義隆 (臼杵支部)

- ★生年月日 昭和46年3月24日 O型 牡牛座
- ★勤務先 竹津建築
- ★趣味 サーフィン

★将来の夢、 Motto 一等

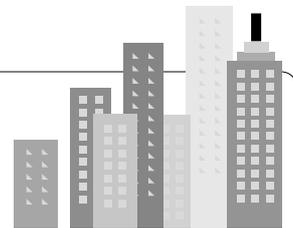
最近、ハマってる事は皆既日食ウォッチングです。

7月に家族で奄美大島へ観測に行きました。歴史的瞬間を自分の目で見たくて・・・あいにくの天候で少ししか観測できなかったのですが、子供達の興奮した顔を見れて嬉しかったです。行く前に子供と約束をしました。次は24年後なので、長男31才、次男29才。もし結婚して子供がいたら、その子にダイヤモンドリングを見せる事を!!

Mottoは、初心忘れるべからずです。よろしくお祈りします。



竹津 昌洋 (佐伯支部)



住宅瑕疵担保履行法

平成21年10月1日より、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保に関する法律」が施行されます。この日以降に新築住宅を引き渡す場合、当該住宅を請け負う建設業者及び、売主となる宅地建物取引業者に、保険加入又は供託のいずれかの対応が必要となります。

この法律は、建築士の皆様に直接何らかの義務を課すものではありません。以下の点を当該住宅の請負業者や建築主にお知らせ下さい。

ポイント その1

賃貸住宅も対象となります！

住宅瑕疵担保履行法の対象となるのは「住宅」であり、賃貸住宅も対象となります。賃貸住宅の場合は、当該住宅の建設工事を請け負った建設業者に保険や供託の義務があります。ただし、宅建業者が発注者の場合は対象とはなりません。

ポイント その2

保険は着工前の申込みが必要です！

保険に加入する場合、原則工事中の現場検査が必要なので、あらかじめ住宅専門の保険会社である、住宅瑕疵担保責任保険法人への申込みが必要です。着工後の保険加入については個別保険法人へご相談下さい。

ポイント その3

分離発注の場合も資力確保が必要です！

分離発注の場合でも、住宅の構造耐力上主要な部分等を施行する建設業許可業者（専門工事業を含む。）は、資力確保措置を行う必要があります。なお、保険は受注業者が連盟で加入することが可能です。

保険法人と連絡先

(平成21年4月1日現在)

保険法人名(50音順)	住 所	電話番号
(株)住宅あんしん保証	〒103-0028 東京都中央区八重洲1-6-6 八重洲センタービル7階	03-3516-6333
(株)住宅保証機構	〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー本館3階	03-3584-6631
(株)日本住宅保証検査機構	〒135-0001 東京都江東区毛利1丁目19番10号 江間忠錦糸町ビル	03-3635-3655
(株)ハウスジューメン	〒105-0003 東京都港区西新橋3-7-1 ランディック第2新橋ビル8F	03-5408-8486
ハウスプラス住宅保証(株)	〒105-6126 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービルディング26階	03-5777-1835



事務局だより

【会議等報告】

■第1回三役会

日時 平成21年4月17日
場所 構造技術センター
出席 7名
議題 20年度決算及び21年度計画・予算について

■会計監査

日時 平成21年4月27日
場所 事務局
出席 監事・役員2名、事務局3名

■第2回三役会

日時 平成21年5月7日
場所 構造技術センター
出席 9名
議題 20年度決算及び21年度事業計画・予算報告

■第1回理事会

日時 平成21年5月12日
場所 コンパルホール
出席 理事29名、監事2名
議題 1) 20年度事業報告及び収支決算報告
2) 21年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

■平成21年度青年部通常総会

日時 平成21年5月21日
場所 大分文化会館 第1小ホール
出席 10名
議題 1) 20年度事業報告
2) 21年度事業計画(案)・収支予算(案)について

■平成21年度通常総会

日時 平成21年5月21日
場所 大分文化会館 第1小ホール
出席 出席者49名、委任状342名 計391名

■第3回三役会

日時 平成21年6月8日
場所 構造技術センター
出席 8名
議題 21年度事業実施計画について

■第1回支部長会議

日時 平成21年6月26日
場所 コンパルホール
出席 17名
議題 瑕疵担保責任保険業務について

■第1回青年部長・副部長会議

日時 平成21年7月11日
場所 大分文化会館 第5会議室
出席 16名
議題 1) 全国大会「第52回建築士会やまがた大会」について
2) 建築士の集い鹿児島大会inいぶすき参加報告について
3) 支部活動状況報告について
4) 平成21年度女性建築士による県産木造住宅の建設促進事業について
5) パッションin宮崎(日南市)について
6) サマーセミナーおおいた進捗状況について
7) その他

■大分県建築士会会議

日時 平成21年7月17日
場所 コンパルホール
出席 3名
議題 事務所移転等の協議について

【委員会報告】

■第1回事業委員会

日時 平成21年4月7日
場所 事務局
出席 8名
議題 平成21年度事業計画について

■編集作業(建築士おおいた105号)

日時 平成21年4月8日
場所 事務局
出席 4名

■地域実践活動大分県代表選考会

日時 平成21年4月26日
場所 コンパルホール
出席 15名

■第1回昇降機等連絡協議会幹事会

日時 平成21年5月15日
場所 事務局
出席 7名
議題 県内関係者連絡会議について

■昇降機等連絡協議会 県内関係者連絡会議

日時 平成21年6月6日
場所 セントレジャー城島高原ホテル
出席 10名
議題 1) 平成20年度事業報告・収支決算報告について
2) 監査報告
3) 平成21年度事業計画(案)・収支予算(案)について
4) その他

■第1回おおいた・地域貢献まちづくり活動センター委員会

日時 平成21年6月10日
場所 事務局
出席 6名
議題 1) 平成21年度事業計画について
2) 助成対象事業について

■第1回調査研究委員会

日時 平成21年6月16日
場所 事務局
出席 9名
議題 平成21年度事業計画について

■第1回総務委員会

日時 平成21年6月17日
場所 事務局
出席 8名
議題 平成21年度事業について

■第1回広報委員会

日時 平成21年6月19日
場所 事務局
出席 8名
議題 平成21年度事業について

■第2回事業委員会

日時 平成21年6月22日
場所 事務局
出席 11名
議題 平成21年度事業計画について

■第1回三役会・CPD専攻建築士制度特別委員会合同会議

日時 平成21年6月25日
場所 コンパルホール
出席 8名
議題 CPDのこれからについて

■第2回昇降機等連絡協議会幹事会

日時 平成21年7月16日
場所 事務局
出席 7名
議題 県内関係者連絡会議の保留案件について

■第1回新公益法人検討特別委員会

日時 平成21年7月23日
場所 事務局
出席 7名
議題 新公益法人の検討について

■第1回まちづくり推進協議会

日時 平成21年7月24日
場所 コンパルホール
出席 8名
議題 21年度事業について
・景観整備機構設立準備活動について

■第2回CPD・専攻建築士制度特別委員会

日時 平成21年8月3日
場所 コンパルホール
出席 7名
議題 九州ブロック会議の報告及び、CPDのこれからについて

■第2回まちづくり推進協議会

日時 平成21年8月19日
場所 事務局
出席 5名
議題 先進地静岡県建築士会の状況及びこれからの取組みについて意見交換

【建築士会連合会関係】

■第446回定例理事会・士会長合同会議

日時 平成21年5月29日
場所 東京都
出席 芳山会長
議題 1) 平成20年度事業報告について
2) 平成20年度補正予算および平成20年度収支決算について
3) 平成21年度事業計画(案)及び平成21年度収支予算(案)について
4) 専攻建築士制度について
5) 第53回建築士会全国大会(佐賀大会)の開催日程等について
6) 後援名義等の使用許可について
7) 平成21年度通常総会の運営について

■全国女性建築士連絡協議会

日時 平成21年7月17日～18日
場所 長野県
出席 阿南女性部会長
概要 基調講演、パネルディスカッション

【九州ブロック会関係】

■第1回青年建築士協議会及び女性建築士協議会役員会

日時 平成21年4月4日
場所 指宿市
出席 後藤青年部顧問、岐部青年部会長
阿南女性部会長、中道女性副会長
議題 1) パッションinながさき大会の収支報告
2) 「建築士の集い」鹿児島大会の進捗状況
について
3) パッションinみやぎきの進捗状況について
4) 「建築士の集い」福岡大会の進捗状況につ
いて
5) その他

■九州ブロック会総会

日時 平成21年5月19日
場所 鹿児島市
出席 芳山会長、幸事務局長
議題 1) 20年度事業報告及び収支決算について
2) 21年度事業計画及び収支予算について
3) 各県提出議題 他

■第1回青年建築士協議会及び女性建築士協議会

運営委員会
日時 平成21年6月27日
場所 指宿市民会館
出席 後藤青年部相談役、岐部青年部会長、
江上青年部幹事、阿南女性部会長
議題 1) 「建築士の集い」鹿児島大会の運営について
2) パッションin宮崎大会の進捗状況について
3) 「建築士の集い」福岡大会の進捗状況に
ついて

■九州ブロック建築士研究集会「建築士の集い」

鹿児島大会
日時 平成21年6月27日
場所 指宿市「指宿市民会館」
参加 52名

【建築士試験関係】

■二級・木造建築士試験受験申込受付

インターネット受付 4月1日～7日
〈二級〉学科 28名、製図 12名
〈木造〉学科 0名、製図 0名
4月13日～17日 於:事務局 審査員 10名
〈二級〉学科 220名、製図 31名
〈木造〉学科 1名、製図 0名

■一級建築士試験受験申込受付

インターネット受付 4月20日～30日
学科 124名、製図 14名
5月11日～15日 於:事務局 審査員 10名
学科 290名、製図 28名

■二級建築士学科試験

試験日 7月5日
会場 日本文理大学
実受験者数 216名
監理員 11名、補助員 6名

■一級・木造建築士学科試験

試験日 7月26日
会場 大分県立芸術文化短期大学
実受験者数 一級:241名、木造:1名
監理員 15名、補助員 5名

【その他会議等】

■専攻建築士/CPD制度に係るブロック説明会

日時 平成21年7月9日
場所 福岡建設会館会議室
出席 専攻/CPD特別委員会竹尾副委員長
幸事務局長、職員
議題 1) 専攻建築士制度オープン化の検討状況に
ついて
2) 建築士会CPD実績記録の仕組みの改善
について
3) 意見交換

■平成21年度第1回建築士定期講習会

日時 平成21年8月25日
場所 大分県教育会館
受講者 170名

■公益法人対象・一般社団・財団への移行検討セミナー

日時 平成21年8月28日
場所 福岡県
出席 末成常務理事

平成21年度 通常総会報告

5月21日(木)13時30分より、大分文化会館において平成20年度通常総会が開催され、平成20年度事業報告・収支決算報告、平成21年度事業計画・収支予算が満場一致で可決されましたので、以下のとおりご報告いたします。

1. 平成20年度事業報告書(略) 2. 平成20年度収支決算書

◎収支決算書

自：平成20年4月1日
至：平成21年3月31日

(1) 収入の部(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額
会費収入	17,201,400	14,962,200
事業収入	5,165,200	3,680,610
補助金交付金収入	300,000	300,000
雑収入	30,000	124,508
積立預金取崩収入	1,000,000	0
繰越金	2,303,541	2,303,541
収入合計(A)	26,000,141	26,370,859

(2) 支出の部(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額
管理費	7,315,000	6,240,600
事業費	17,685,141	14,977,008
予備費	1,000,000	0
支出合計(B)	26,000,141	21,217,608
次期繰越収支差額(A-B)		5,153,251

◎貸借対照表(略)

◎財産目録 平成21年3月31日現在

(1) 資産の部

1. 流動資産		47,627,763
普通預金	大分銀行	19,894,186
現金		5,761
定期預金	中央三井信託銀行	10,000,000
定期預金	みらい信用金庫	8,406,666
定期預金	豊和銀行	8,000,000
未収入金	姉妹建築士による県産木造住宅建設支援事業	828,450
未収入金	会費	472,700
未収入金	ホームページ特別会計予備費	20,000
2. 固定資産		1,320,000
敷金	田原ビル	600,000
	アネックス大手町	720,000
資産合計(C)		48,947,763

(2) 負債の部

I 流動負債		47,627,763
預り金	大分支部敷金	120,000
	労働保険料等	219,790
	所得税	413,980
II 固定負債		41,830
災害引当金	41,830	
負債合計(F)		795,600
正味財産(G) = (C) - (F)		48,152,163

◎余剰金処分

本年度剰余金 2,303,541円
これを次のように処分する。

次年度繰越金 2,303,541円
以下のとおりである。

平成21年5月21日

社団法人 大分県建築士会
会長 芳山 憲祐

3. 監査報告書

平成20年度決算書(収支計算書・貸借対照表・財産目録)及び会計諸帳簿、関係書類等の監査を実施いたしました。正確かつ適正であることを認めます。

平成21年4月27日

監事 道吉 栄一
監事 豊島 範幸
監事 稲葉 孝博

4. 平成21年度事業計画

1. 新公益法人制度について

(1) 新公益法人制度への移行のための調査及び検討(特別委員会の設置)

2. 社会的活動

- (1) おおいた地域貢献・まちづくり活動センターにより地域貢献・まちづくり活動の活性化に寄与
- (2) 応急危険度判定業務のネットワーク構築
- (3) 「建築士の日」の事業実施

3. 教育活動

- (1) 専攻建築士制度・継続能力開発制度の推進
- (2) 「すべての建築士のための特別総合研修」
(旧指定講習会)の実施
- (3) 建築基準法及び関係法令等の講習会の実施
- (4) 研修会、研究集会の実施
- (5) 県産木造住宅建設支援事業の講習会の実施
- (6) 全国大会への参加
10月16日(金)山形県山形市
- (7) 九州ブロック主催の講習会、
研修会への参加

4. 組織の強化と活性化

- (1) 会員の増強
- (2) 財政強化
- (3) 青年、女性建築士活動の推進
 - ・全国青年委員長会議、
全国女性建築士連絡協議会への参加
 - ・「建築士の集い」鹿児島大会への参加
6月27日(土)鹿児島県指宿市
 - ・「パッション」への参加
 - ・サマーセミナーの実施

5. 建築行政及び関係団体への協力

- (1) 大分県建築物総合防災推進協議会への参加
- (2) 違反建築物防止週間及び建築物防災週間への協力
- (3) 大分県木造住宅等推進協議会への協力
- (4) その他行政関連団体への協力

6. 受託事業

- (1) 一級、二級、木造建築士試験業務
- (2) 昇降機等定期検査報告業務
- (3) 構造計算適合性審査受託業務
- (4) 一級建築士免許登録等業務
- (5) 登録・閲覧事務、定期講習
- (6) その他、建築・まちづくり等に関する受託業務

7. 広報・福利厚生業務

- (1) 「建築士おおいた」の発行及び連合会発行の
「建築士」の配布
- (2) ホームページの充実
- (3) IT活用によるネットワークづくりの推進
- (4) 図書の紹介及び斡旋
- (5) グループ保険の普及及び加入促進
- (6) その他、会員の福利厚生に関すること

8. 平成21年度収支予算書

自：平成21年4月1日
至：平成22年3月31日

(1) 収入の部

勘定科目	前年度決算額	本年度予算額
会費収入	14,962,200	15,851,200
事業収入	3,680,610	3,369,200
補助金交付金収入	300,000	300,000
雑収入	124,508	105,000
積立預金取崩収入	0	0
繰越金	2,303,541	5,153,251
収入合計(A)	26,370,859	24,778,651

(2) 支出の部

勘定科目	前年度決算額	本年度予算額
管理費	6,240,600	7,365,000
事業費	14,977,008	16,513,651
予備費	0	900,000
支出合計(B)	21,217,608	24,778,651

編集委員会では みなさんの投稿を待っています。

絵・スケッチ・CG・詩・短歌・俳句・随想なんでも結構です。あなたの知られざる才や技を御披露いただきたいのです。

各支部の編集委員までおとどけください。本部に直接送ってくださってもかまいません。よろしくお願ひ致します。

広報委員

担当副会長	〈白杵〉	三重野	元良
委員長	〈大分〉	宮崎	隆博
副委員長	〈大分〉	中園	幸治
委員	〈大分〉	亀谷	芳久
	〈大分〉	都瑠	淳一
	〈国東〉	上野	貢一
	〈別府〉	河村	靖
	〈白杵〉	板井	登喜雄
	〈三重〉	岡部	達巳
	〈玖珠〉	須賀	文広
	〈日田〉	日高	淳一
	〈中津〉	中尾	忠廣

編集委員

委員長	〈高田〉	後藤	憲二
副委員長	〈大分〉	岐部	和久
	〈宇佐〉	渡辺	賢一
	〈白杵〉	赤嶺	竜一
委員	〈国東〉	野田	忠博
	〈別府〉	工藤	圭介
	〈大分〉	伊東	幸子
	〈大分〉	川野	祥弘
	〈大分〉	太田	将弘
	〈大分〉	高山	鮎美
	〈佐賀〉	藤澤	浩
	〈津久見〉	大村	正壽
	〈佐伯〉	長田	孝治
	〈佐伯〉	後藤	堅
	〈三重〉	後藤	康仁
	〈竹田〉	志賀	勝吉
	〈玖珠〉	白地	泰憲
	〈日田〉	櫻木	弘三郎
	〈中津〉	山村	増治

建築士大分 2009.10 No. 106 (非売品)

平成21年 10月20日 印刷

平成21年 10月25日 発行

編集/発行所
社団法人

大分県建築士会

〒870-0022

大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所/いづみ印刷株式会社 大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高 田	879-0605	豊後高田市御玉199	0978-24-0418
国 東	873-0503	国東市国東町安国寺718	0978-72-2887
別 府	874-0845	別府市大字鶴見字角田3220-3 別府建築士事務所会館	0977-67-4488
本部・大分	870-0022	大分市大手町2-2-7 田原ビル2F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市大字佐賀関3068 高島建設(株)内	097-575-0116
臼 杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2445	津久見市井無田町3-9 津久見建設(株)内	0972-82-5291
佐 伯	876-0813	佐伯市長島町1-3-11	0972-23-6099
三 重	879-7131	豊後大野市三重町市場2区	0974-22-6606
竹 田	878-0026	竹田市大字飛田川1618-6	0974-62-3711
玖 珠	879-4412	玖珠郡玖珠町大字山田291-2 サンホーム(株)内	0973-72-0023
日 田	877-0025	日田市田島1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内	0973-24-6022
中 津	871-0024	中津市中央町1-5-24 中津建築会館	0979-24-3597
宇 佐	879-0453	宇佐市上田931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本 部	http://www.oita-shikai.or.jp/		
高 田 支 部	http://www2.ocn.ne.jp/~o-taka.da/		
国 東 支 部	http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/		
別 府 支 部	http://www.beppu-onse.n.jp/		
大 分 支 部	http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/		
佐 賀 関 支 部	http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/		
臼 杵 支 部	http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/syoukai.htm		
津 久 見 支 部	http://www.bungo.or.jp/t-shikai/		
佐 伯 支 部	http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/		
三 重 支 部	http://www16.plala.or.jp/sok-mie/		
竹 田 支 部	http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm		
玖 珠 支 部	http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/		
日 田 支 部	http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm		
中 津 支 部	http://kentikusi-naka.tu.net/		
宇 佐 支 部	http://www.d-b.ne.jp/usasikai/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～
目標3,000人突破



社団法人 大分県建築士会